

10月給食だより

平成29年度
高岡市立太田小学校

スポーツ・行楽・芸術・読書、そして味覚の秋がやってきました。給食で使われているお米も、そろそろ新米が届くころです。新米は水分が多く、ふっくらつやつやした炊き上がりです。農家の方が一生懸命作ったお米ですので、最後の一粒まで大切に食べましょう。

お米博士になろう！



「お米クイズ」に挑戦しましょう。全問正解したら、立派な「お米博士」です。

第1問	米一粒を植えると、何粒の米ができるでしょう。 ① 約80粒 ② 約800粒 ③ 約1600粒
第2問	昭和45年は大豊作で、お米がたくさん収穫されましたが、国民が食べる量が減ったので、たくさん余ってしまいました。そこで、日本政府がとった政策はどんな内容でしょう。 ① 特別に値段を安くした ② 捨てた ③ 学校給食をパンからごはんに変えた
第3問	新米は、いつまでが「新米」なのでしょう。 ① 生産された年の12月31日までに食べるお米 ② 生産された年の12月31日までに袋詰めされたお米 ③ 食べて「おいしい」と感じる時まで
第4問	お米を量るときは「合」「升」「斗」「石」という単位が使われます。この基準を、最初に統一した人は誰でしょう。 ① 織田信長 ② 豊臣秀吉 ③ 徳川家康



第1問について



一粒の米を植えると、秋には約20本の稲穂が実ります。1本の稲穂に約80粒の米がつきます。だから、一粒の米は、 20×80 で、約1600粒になります。ちなみに、茶わん1杯のごはんは、およそ3500粒なので、ほんの2~3粒の米から、お茶わん1杯分のごはんができることになります。

答え ③

第2問について

昔、給食の主食はパンでしたが、昭和45年に米が余ったので、米飯給食が始まりました。お米の値段は決められていたので、値引きして売ることはできませんでした。この年から、政府は米を作りすぎないように調整（減反）を行うようになりました。

答え ③



第3問について

食品の表示のしかたを決めているJAS法によると、新米とは「生産された年の12月31日までに精米され、容器に入れて販売されるもの」と定められています。

新米の反対に、古くなった米を「古米」といいます。ツヤがなくなり、パサパサするので、ピラフや混ぜごはんにすると、おいしく食べられます。



答え ②

第4問について

「合」「升」「斗」「石」は、日本独自の単位で、「尺貫法（しゃっかんほう）」といわれています。1合は約150gです。10合で1升、10升で1斗、10斗で1石になります。高岡の町を開いた前田利長公は、加賀百万石をおさめた藩主ですが、この「百万石」というのは、毎年お米が100万石（15万トン）収穫できる土地という意味です。

答え ②

